



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月12日

上場会社名 株式会社CKサンエツ
コード番号 5757 URL <https://www.cksanetu.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 釣谷 宏行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 松井 大輔

TEL 0766-28-0025

四半期報告書提出予定日 2022年8月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	34,024	22.6	2,885	10.8	4,408	71.2	2,757	77.3
2022年3月期第1四半期	27,762	90.4	3,235		2,575		1,555	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 3,081百万円 (77.9%) 2022年3月期第1四半期 1,731百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	334.13	
2022年3月期第1四半期	187.73	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	84,317	46,400	48.4	4,953.14
2022年3月期	71,099	43,893	54.2	4,649.01

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 40,831百万円 2022年3月期 38,523百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		30.00		40.00	70.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		30.00		30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2022年3月期の期末配当金の内訳 普通配当30円00銭 記念配当10円00銭(売上高1000億円記念配当)

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	126,000	9.2	6,500	39.7	9,300	41.5	6,000	39.1	727.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	8,867,000 株	2022年3月期	8,867,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2023年3月期1Q	623,521 株	2022年3月期	580,521 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期1Q	8,251,405 株	2022年3月期1Q	8,283,366 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症については一時的に沈静化しましたが、半導体不足や中国各地でのロックダウンによる部品の調達難のため、自動車をはじめとする様々な業界で生産障害が発生しました。世界的に金融引締めが進む中で、日本銀行が金融緩和を継続したため、外国為替市場では円安が進行しました。ウクライナ情勢が長期化し、資源・エネルギー価格が高騰したため、国内企業物価は上昇を続け、消費者物価も上昇しました。当社グループ（当社及び連結子会社）における各種購入品の価格が上昇しましたが、主要原材料で国際相場商品の銅は、中国における経済活動の停滞等を材料に、LME（ロンドン金属取引所）の価格が大幅に下落しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、銅相場が前年同四半期と比較して高い水準であったため、売上高は340億24百万円（前年同四半期比22.6%増加）となり、営業利益は28億85百万円（同10.8%減少）となりました。営業外損益として、デリバティブ利益が1億1百万円、デリバティブ評価益が13億54百万円発生したため、経常利益は44億8百万円（同71.2%増加）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は27億57百万円（同77.3%増加）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

伸銅

伸銅事業では、販売量は2万9,120トン（前年同四半期比0.5%減少）、売上高は299億28百万円（同23.2%増加）となり、セグメント損益は23億77百万円のセグメント利益（同14.8%減少）となりました。

精密部品

精密部品事業では、売上高は15億51百万円（前年同四半期比30.1%増加）となり、セグメント損益は1億61百万円のセグメント利益（同117.8%増加）となりました。

配管・鍍金

配管・鍍金事業では、売上高は25億44百万円（前年同四半期比11.8%増加）となり、セグメント損益は2億67百万円（同2.8%減少）のセグメント利益となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は626億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ133億44百万円増加しました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産、電子記録債権が93億99百万円、棚卸資産が22億65百万円増加したことによるものであります。固定資産は216億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億26百万円減少しました。この結果、資産合計は843億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ132億18百万円増加しました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は353億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ106億50百万円増加しました。これは主に、短期借入金が増加したことによるものであります。固定負債は25億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ61百万円増加しました。この結果、負債合計は379億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ107億11百万円増加しました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は464億円となり、前連結会計年度末に比べ25億6百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益が27億57百万円であったことによるものであります。この結果、自己資本比率は48.4%（前連結会計年度末は54.2%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月13日「2022年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」において公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2022年8月12日）発表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	679	1,413
受取手形、売掛金及び契約資産	19,003	22,939
電子記録債権	5,772	11,235
商品及び製品	7,282	7,684
仕掛品	7,792	9,293
原材料及び貯蔵品	7,312	7,673
その他	1,560	2,527
貸倒引当金	△91	△112
流動資産合計	49,310	62,654
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,532	13,593
減価償却累計額	△6,188	△6,303
建物及び構築物 (純額)	7,344	7,289
機械装置及び運搬具	25,448	25,761
減価償却累計額	△21,864	△22,187
機械装置及び運搬具 (純額)	3,584	3,573
土地	7,020	7,020
建設仮勘定	173	264
その他	2,381	2,408
減価償却累計額	△2,036	△2,076
その他 (純額)	345	332
有形固定資産合計	18,467	18,480
無形固定資産		
のれん	164	141
ソフトウェア	329	317
ソフトウェア仮勘定	44	45
その他	67	22
無形固定資産合計	606	526
投資その他の資産		
投資有価証券	1,351	1,302
退職給付に係る資産	14	14
繰延税金資産	1,260	1,254
その他	90	85
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	2,715	2,655
固定資産合計	21,788	21,662
資産合計	71,099	84,317

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,424	10,358
短期借入金	8,440	20,800
未払金	280	128
未払費用	1,080	890
未払法人税等	1,340	1,395
賞与引当金	1,050	432
設備関係支払手形	1,280	717
その他	1,798	622
流動負債合計	24,695	35,345
固定負債		
繰延税金負債	319	324
再評価に係る繰延税金負債	280	280
退職給付に係る負債	1,586	1,621
その他	323	344
固定負債合計	2,510	2,571
負債合計	27,205	37,917
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,756	2,756
資本剰余金	4,507	4,543
利益剰余金	32,148	34,560
自己株式	△1,367	△1,541
株主資本合計	38,046	40,319
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△56	△43
土地再評価差額金	565	565
為替換算調整勘定	△8	6
退職給付に係る調整累計額	△22	△16
その他の包括利益累計額合計	477	511
非支配株主持分	5,369	5,569
純資産合計	43,893	46,400
負債純資産合計	71,099	84,317

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	27,762	34,024
売上原価	23,392	29,921
売上総利益	4,370	4,102
販売費及び一般管理費		
荷造及び発送費	324	331
給料及び手当	291	295
退職給付費用	7	8
その他	512	581
販売費及び一般管理費合計	1,135	1,217
営業利益	3,235	2,885
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	13	18
デリバティブ利益	-	101
デリバティブ評価益	47	1,354
その他	76	79
営業外収益合計	138	1,555
営業外費用		
支払利息	4	4
デリバティブ損失	461	21
デリバティブ評価損	326	0
その他	5	6
営業外費用合計	798	32
経常利益	2,575	4,408
特別利益		
固定資産売却益	0	0
補助金収入	5	3
特別利益合計	5	3
特別損失		
固定資産除却損	2	1
特別損失合計	2	1
税金等調整前四半期純利益	2,578	4,409
法人税等	805	1,369
四半期純利益	1,772	3,039
非支配株主に帰属する四半期純利益	217	282
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,555	2,757

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	1,772	3,039
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△50	20
為替換算調整勘定	9	15
退職給付に係る調整額	△0	5
その他の包括利益合計	△40	42
四半期包括利益	1,731	3,081
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,524	2,791
非支配株主に係る四半期包括利益	207	290

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）

前連結会計年度末において非連結子会社でありました株式会社サンエツ商事は重要性が増したため、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（追加情報）

前事業年度の有価証券報告書（重要な会計上の見積り）に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間（自2021年4月1日至2021年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	伸銅	精密部品	配管・鍍金	合計
売上高				
顧客との契約から生じる収益	24,294	1,192	2,275	27,761
その他の収益	0	—	—	0
外部顧客への売上高	24,295	1,192	2,275	27,762
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,485	18	2	1,507
計	25,781	1,210	2,277	29,270
セグメント利益	2,791	74	275	3,141

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,141
セグメント間取引消去	203
全社費用	△109
四半期連結損益計算書の営業利益	3,235

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2022年4月1日至2022年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	伸銅	精密部品	配管・鍍金	合計
売上高				
顧客との契約から生じる収益	29,928	1,551	2,544	34,023
その他の収益	0	-	-	0
外部顧客への売上高	29,928	1,551	2,544	34,024
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,092	19	2	2,114
計	32,021	1,570	2,546	36,139
セグメント利益	2,377	161	267	2,806

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,806
セグメント間取引消去	202
全社費用	△123
四半期連結損益計算書の営業利益	2,885

(重要な後発事象)

該当事項はありません。